

Cisco IP Communicator と Microsoft Office Communicator を使用した導入とベスト プラクティス

目次

[概要](#)

[前提条件](#)

[要件](#)

[使用するコンポーネント](#)

[表記法](#)

[導入](#)

[Cisco Unified Presence、Cisco Unified Communications Manager および Cisco Unified IP Phones の Microsoft Office Communications Server 統合](#)

[Microsoft Office 伝達者ボイスメール アクセス](#)

[アクティブ ディレクトリの一般的な 音声メール ユーザコンフィギュレーション](#)

[Microsoft Office 伝達者のシングルクリック音声メール アクセス 設定](#)

[Cisco IP Communicator](#)

[Cisco IP Communicator と Microsoft Office 伝達者を使用することにおける最良の方法](#)

[隠れる Cisco IP Communicator](#)

[Cisco IP Communicator は Microsoft Office 伝達者にログインの前に登録を完了します](#)

[既知の問題](#)

[関連情報](#)

概要

Cisco Unified Communications は、Cisco Unified Endpoint のリモート コール制御 (たとえば、クリック ツー コール) のため、Microsoft Live Communications Server 2005 または Office Communications Server 2007 を統合します。Microsoft Office 伝達者はリモートで Cisco Unified Presence によって Microsoft ライブ Communications Server 2005 年間のこの統合によって Cisco Unified エンドポイントをか Microsoft Office Communications Server 2007 年および Cisco Unified Communications、制御するのに使用されるアプリケーションです。

Cisco Unified Presence と Microsoft Communications Server 2005 年間の通信は住んでいますまたはオフィス Communications Server 2007 は SIP/SIMPLE インターフェイスを使用します。ただし、Microsoft ライブ Communications Server 2005 年かオフィス Communications Server は 2007 のトンネル SIP 上のテレコミュニケーション アプリケーション (CSTA) トラフィックをコンピュータ サポートしました。従って Click to Call 電話制御のための CSTA に CTI 変換を処理するために、Cisco Unified Presence サーバの CTI ゲートウェイは設定する必要があります。

前提条件

要件

このドキュメントに関する固有の要件はありません。

使用するコンポーネント

これらのコンポーネントが Cisco IP Communicator の Microsoft Office 伝達者を展開するために必要となります:

- Cisco IP Communicator —バージョン 2.1 または それ 以降
- Microsoft Office 伝達者— 2005 年か 2007 年
- Cisco Unified Communications Manager —バージョン 5.0(4) または それ 以降
- Cisco Unified Presence —バージョン 6.x または 1.x
- Microsoft ライブ コミュニケーション サーバ 2005 年か Microsoft Office Communications Server 2007 年
- Microsoft Office 伝達者が音声メール アクセスのために Cisco IP Communicator を使用すれば、適当これらの音声メールシステムの 1 つ、Cisco Unity —バージョン 5.0(1) または それ 以降Cisco Unity Connection —バージョン 2.0(1) または それ 以降

必須コンポーネントの最新バージョン サポート対象バージョン組み合わせについての情報に関しては、Cisco.com の互換性 ドキュメントを参照して下さい。

表記法

ドキュメント表記の詳細は、『[シスコ テクニカル ティップスの表記法](#)』を参照してください。

導入

この資料の目的は、Microsoft Office 伝達者のための機能リモートで Cisco IP Communicator を制御する softphone を使用して Cisco Unified Communications コール制御を提供する 1 つの特定のデプロイメントシナリオを強調表示することです。、置くことのためのすべてのユーザ機能は、Cisco IP Communicator によって呼び出しを扱うことは Microsoft Office 伝達者を使用してされが、受信根本的な可聴周波機能性提供されます。

この資料は Cisco Unified Presence で Cisco IP Communicator をサードパーティ コール制御のために使用し、音声メールにアクセスするために設定 Microsoft Office 伝達者および Cisco Unified Communications Manager についての情報を提供したものです。この資料はまた Cisco IP Communicator と Microsoft Office 伝達者を使用することにおけるエンドユーザ 最良の方法が含まれています。この資料は完全なソリューション設定のステップバイステップ設定を提供しませんが、順調に必須コンポーネントを展開するために必要である参照 資料を提供したものです。

[Cisco Unified Presence、Cisco Unified Communications Manager および Cisco Unified IP Phones の Microsoft Office Communications Server 統合](#)

Cisco Unified Presence は Microsoft Office 伝達者が JTAPI によって制御をサポートするサードパーティ コール制御のために Cisco Unified IP エンドポイントを使用することを可能にします。Microsoft Office 伝達者のユーザは「dsa.msc」を使用してライブ Communications Server 2005

年かオフィス Communications Server 2007 年のプラットフォーム コマンド・ラインからアクセスすることができるコンピュータ 有効になります、及びアクティブ ディレクトリ ユーザで通信のために。

必須コンポーネントが確認されたら、システムがきちんとはたらくことができるように組織的にこれらのコンポーネントをインストールし、テストするのにこの高度なタスク リストを使用して下さい。タスクは Cisco Unified Presence ドキュメントおよび関連付けられているアプリケーション メモで詳細な使用説明書を参照します。いくつかのタスクは特定の状況にだけ適用し、そのように注意されます。タスクが状況に適用しない場合、それをスキップして下さい。

1. Cisco Unified Presence をインストールして下さい。 [Cisco Unified Presence インストールとアップグレードガイド](#)で適当なインストールガイドを参照して下さい。
2. Cisco Unified Presence と Microsoft Office 伝達者を統合タスクを行って下さい。コンフィギュレーションの詳細についてはこれらの文書を参照して下さい: [Cisco Unified Presence コンフィギュレーションガイド](#)の適当な統合メモ/配置ガイド。Microsoft Cisco Unified Presence 1.0(3) および Cisco Unified CallManager 5.0(4) への SP1 のライブ コミュニケーション サーバ 2005 年の Enterprise Edition に関しては、資料は http://www.cisco.com/en/US/docs/voice_ip_comm/cucme/pbx/interop/notes/573420nt.pdf で利用できます。Microsoft Office コミュニケーション サーバ Cisco Unified Presence 6.0(1) および Cisco Unified Communications Manager への SP1 の 2007 年の Enterprise Edition に関しては 6.0(1) は、資料 http://www.cisco.com/en/US/docs/voice_ip_comm/cucme/pbx/interop/notes/617030nt.pdf で利用可能です。Microsoft Office 伝達者に関しては 2007 年は、[Microsoft Office 伝達者 2007 年の配置ガイド](#)を示します。Microsoft Office Communications Server 2007 年に関しては、構成情報に関しては [Microsoft Office Communications Server 2007 年の管理 ガイド](#)を参照して下さい。追加 Microsoft Office Communications Server ドキュメントに関しては、[オフィス Communications Server](#) を参照して下さい。
3. 統合をテストして下さい: Microsoft Office 伝達者を Cisco Unified IP Phone を使用するために設定して下さい。Microsoft Office 伝達者を別のユーザの電話を呼出すのに使用して下さい。Microsoft Office 伝達者が Cisco Unified IP Phone を正しく使用することを確認して下さい。

[Microsoft Office 伝達者ボイスメール アクセス](#)

Microsoft Office 伝達者クライアントのダイヤル パッドに音声メールにダイレクトアクセスのためのキーがありません。ただし、アクティブ ディレクトリとライブ Communications Server 2005 年またはオフィス Communications Server 2007 年の一般的な 音声メール ユーザの設定によってシングルクリック音声メール アクセスを模倣できユーザを持っていて Microsoft Office 伝達者の連絡先としてこのユーザを追加して下さい。ユーザはそれから音声メールにアクセスするために連絡先に電話で問い合わせるのにクリックダイヤル機能を使用できます。

[アクティブ ディレクトリの一般的な 音声メール ユーザコンフィギュレーション](#)

シングルクリック アクセスを Microsoft Office 伝達者の音声メールに模倣するために、アクティブ ディレクトリの一般的な 音声メール ユーザを設定して下さい。

注: ユーザが異なるパイロット番号を使用して音声メールにアクセスする場合、各パイロット番号のためのアクティブ ディレクトリの別途の一般的な ユーザを作成して下さい Microsoft Office 伝達者の連絡先として追加するべき一般的な 音声メール ユーザ ユーザに通知します。

1. アクティブ ディレクトリでは、これらの設定でユーザを作成して下さい:
2. live Communications Server 2005 年のための**ライブ通信**タブ、かオフィス Communications Server 2007 年のための**通信**タブをクリックして下さい。
3. live Communications Server 2005 年のこの **User タブのためのイネーブル ライブ コミュニケーション**、かオフィス Communications Server 2007 年の **Communications Server タブのためのイネーブル ユーザ**をクリックして下さい。
4. SIP URI を規定 するために、一口を入力して下さい: **voicemail@<Domain name >**。
5. プール ドロップダウン リストから、ユーザに適用するプールを選択して下さい。
6. [OK] をクリックします。
7. [Exit] をクリックします。

[Microsoft Office 伝達者の音声メール アクセス 設定をシングルクリックして下さい](#)

ユーザは Microsoft Office 伝達者の音声メールにアクティブ ディレクトリの一般的な 音声メール ユーザを設定した後シングルクリック アクセスを、設定できます。

1. Microsoft Office 伝達者クライアントへのログイン。
2. 連絡先のリストに一般的な 音声メール ユーザを追加して下さい。他のどの連絡先もように音声メールにアクセスするために、音声メール連絡先に電話で問い合わせして下さい。音声メール パスワードを入力するのに Microsoft Office 伝達者ダイヤル パッドを使用して下さい。

[Cisco IP Communicator](#)

Cisco IP Communicator は Cisco Unified IP Phones に加えて Microsoft Office 伝達者リモート呼び出し制御のためにエンドポイントとして使用することができます。

1. Cisco IP Communicator をインストールし、設定して下さい。 [Cisco IP Communicator リリース 2.1 のための管理 ガイド](#)を参照して下さい。
2. Cisco IP Communicator の Microsoft Office 伝達者をテストして下さい:Cisco IP Communicator を開始して下さい。電話が Cisco Unified Communications Manager との登録を完了した時、Microsoft Office 伝達者へのログイン。注: Cisco IP Communicator は Microsoft Office 伝達者にログイン する前に登録を完了する必要があります。 [隠れる Cisco IP Communicator](#) を使用して非表示 モードで動作するために Cisco IP Communicator を設定して下さい。このステップは任意で実行します。ただし、ユーザ エクスペリエンス側面から、これはシステムトレイで Cisco IP Communicator を保存します。これはオーディオは Cisco IP Communicator を使用しているが Microsoft Office 伝達者がユーザ制御であることを可能にします。Microsoft Office 伝達者を別のユーザの電話を呼出すのに使用して下さい。Microsoft Office 伝達者が Cisco Unified IP Phone の代りに Cisco IP Communicator を使用することを確認して下さい。ユーザが Microsoft Office 伝達者を音声メールにアクセスしたらに使用したら音声メール連絡先の電話で問い合わせによって音声メール アクセスをテストして下さい他のどの連絡先もように。音声メール パスワードを入力するのに Microsoft Office 伝達者ダイヤル パッドを使用して下さい。

[Cisco IP Communicator と Microsoft Office 伝達者を使用することにおける最良 の 方法](#)

Microsoft Office 伝達者を Cisco IP Communicator と統合とき、最良ユーザ エクスペリエンスを可能にするために続く必要がある少数の最良の方法があります:

- [Cisco IP Communicator を隠すことは](#) Cisco IP Communicator がシステムトレイでコールセットアップまたはアクティブ コールの間には制御 インタフェースとして示されないで動作することができるように可能にします。これはユーザを 1 つの制御 インタフェースがあることを Microsoft Office 伝達者可能にします。
- [Cisco IP Communicator は](#) Microsoft Office 伝達者を [Microsoft Office 伝達者可能にログインの前に](#)最後によって登録されている Cisco Unified エンドポイントを制御するために[登録を完了します](#)。
- それが Cisco Unified IP Phone または Cisco IP Communicator であるかどうか、トレインしているエンドユーザ Microsoft Office 伝達者に Cisco Unified エンドポイントをどのようにに 関して利用するか。

[隠れる Cisco IP Communicator](#)

Cisco IP Communicator は非表示 モードで動作するためにオプションで設定され、システムトレイで維持することができます。

1. IP Communicator を on Cisco 右クリックし、『Preferences』 をクリックして下さい。
2. **User タブ**をクリックして下さい。
3. **minimize** チェックボックスの**非表示**をチェックして下さい。
4. **アクティブ コール** チェックボックスで**向かうために持って来**のチェックを外して下さい。
5. **非表示着信コール 通知** チェックボックスをチェックして下さい。
6. [OK] をクリックします。
7. Cisco IP Communicator デスクトップ ショートカットを右クリックし、『Properties』 をクリックして下さい。
8. [Shortcut] タブをクリックします。
9. 実行リストで、**最小に**されるクリックして下さい。
10. [OK] をクリックします。
11. Cisco IP Communicator を最小に して下さい。

[Cisco IP Communicator は Microsoft Office 伝達者にログインの前に登録を完了します](#)

ユーザがログオンするとき使用するべきかどの電話を Microsoft Office 伝達者クライアント コントロール 1 台のただ電話、および Microsoft Office 伝達者は判別します。これはユーザが Cisco IP Communicator および統一された IP Phone を両方同じディレクトリ番号を共有するために設定してもらう場合チャレンジを示すことができます。

デフォルトで、Microsoft Office 伝達者はユーザが Microsoft Office 伝達者にログオンするとき Cisco Unified Communications Manager に登録されている場合 Cisco IP Communicator を制御します。ユーザは Microsoft Office 伝達者にそれらが Cisco IP Communicator を開始し、それが登録を完了するようにするまでログインべきではないです。さもなければ、Microsoft Office 伝達者はユーザの Cisco Unified IP Phone を代りに制御します。

Microsoft Office 伝達者は規定 する方法を提供しません使用するために電話をかける。ユーザが Microsoft Office 伝達者にログオンしたときに Cisco IP Communicator 登録が完了しなかった問題を解決するために、ユーザは Microsoft Office 伝達者のログアウトそれから記録 するためになり

。Microsoft Office 伝達者が Cisco IP Communicator を制御すれば、そして Microsoft Office 伝達者に Cisco Unified IP Phone を代りに制御してもらうためにユーザが切り替えたいと思えば同様に、ユーザは Microsoft Office 伝達者に Microsoft Office 伝達者、密接な Cisco IP Communicator、そしてログのログアウトになります。

Cisco はユーザが Windows に開始するに Microsoft Office 伝達者をとき彼らログイン自動的に設定することを推奨します。Microsoft Office 伝達者では、個人的なタブの **Windows チェックボックスにログオンするとき Tools > Options の順にクリックし、開始伝達者を自動的にチェックを外して下さい。**

既知の問題

これは Microsoft Office 伝達者を Cisco IP Communicator と使用するとき既知の問題の現在リストです:

- Cisco バグ ID [CSCs155367](#) ([登録ユーザのみ](#)) – 共用 ラインは MOC を正しく使用していません。**問題:** Microsoft Office 伝達者が制御するデバイスである [Cisco IP Communicator と Microsoft Office 伝達者を使用することにおける最良の方法](#)に続いた場合、Cisco IP Communicator が登録されていれば。Cisco Unified IP Phone が Cisco IP Communicator の共用 ラインのとき、Microsoft Office 伝達者は実際に Microsoft Office 伝達者にデバイスのナレッジがあるのに Cisco Unified IP Phone を制御していません。これは可能性としてはそのデバイスをコントロールしないのにコールが Cisco Unified IP Phone から直接応答される、Microsoft Office 伝達者が制御 ウィンドウを始動する複雑なユーザ エクスペリエンスを示します。**緩和策:** なし
- Cisco バグ ID [CSCs159987](#) ([登録ユーザのみ](#)) – DTMF は MOC キーパッドを使用するとき遅れます。**問題:** 音声メールにアクセスするのに Microsoft Office 伝達者を使用するとき Microsoft Office 伝達者キーパッドのディジットを入力しているユーザはパスワードを余りにすぐに入力できます。これはいくつかのディジットを Cisco Unified Communications Manager によって受信されないためにおよび/または処理しますかもしれないし認証は失敗します。**緩和策:** 失敗した認証問題を回避するために、Cisco はユーザがおよそ 1秒ディジット間の押す休止することを推奨します。
- Cisco バグ ID [CSCs160049](#) ([登録ユーザのみ](#)) – MOC に消音機能がありません。**問題:** Microsoft Office 伝達者の消音ボタンの使用は Cisco IP Communicator 音声 ストリームを消音しません。**緩和策:** ありません。Cisco Unified Communications マネージャに CTI 制御がとりわけ Cisco Unified エンドポイントの消音機能性を制御するありません。
- 最後にエクステンションモビリティを使用するために Cisco IP Communicator が設定されれば、デバイスプロファイル名前は SEP から始まってはなりません。

関連情報

- [Cisco Unified Communications SRND は Unified Communications Manager 6.x を on Cisco 基づかせていました](#)
- [音声に関する技術サポート](#)
- [音声とユニファイド コミュニケーションに関する製品サポート](#)
- [Cisco IP Telephony のトラブルシューティング](#)
- [テクニカルサポートとドキュメント - Cisco Systems](#)